

2013年2月9日

前回は宇宙の様子が騒がしくなってきたことを述べたが、それに劣らず地球の様子も騒がしくなってきた。マスゴミは少しも伝えないので、少し下記に条項を示す。

まず気になるところでは、以前挙げたと思うが、地球の活動が活発化していると思われる。一つはオーストラリアプレート境界のマレーシア付近で海底が1日で400mの隆起があったのではないかという知らせである。実際にはこの付近の津波観測所での水深測定で明らかになったということだが、ゆっくりと海底が上昇したようだ。またこのところ環太平洋火山帯の火山の噴火が増えている。最近ではカムチャッカ半島の3つの火山が同時に噴火した。この地域での大型地震も増加している。つい先日もソロモン諸島でM8の地震があったばかりだ。

一方で気象異常の知らせは毎日のように入ってくる。中国では各地で異常寒波と豪雪の被害。フィリピンでは洪水。ヨーロッパ各地も寒波と豪雪の被害が出ている。イスラエルの嵐と洪水。オーストラリアの異常高温、南極の異常高温による氷床の融解、アメリカ西部の低温と旱魃、ここ数日でも、今度はアメリカ北東部で冬の嵐、マサチューセッツ州ではこのため非常事態宣言が出され、車の走行禁止令等が今も出されているようだ。地球全体としては温暖化よりも寒冷化の兆候。イギリスの気象庁でも温暖化は16年前に終了したとの報告がなされたとか！前回の太陽活動の異変とあわせると1700年前後のマウンダー小氷期と似ている状況といわれている。このときはイギリスのテムズ川が凍り、日本でも飢饉が発生した次期である。また中国をはじめ突然シンクホールが発生したとかの報道も多くなっている。地球の変化については磁極の移動が大きくなっており、同時に地磁気が減少しているといわれている。磁極の移動は十数年前から始まっており、その移動速度が年々速くなっているといわれ、過去に起こった磁極の反転が起こるのではないかといわれている。ポールシフト等で検索してみると様子かわかると思われる。

いずれにしても宇宙の活動、特に太陽活動と切り離せない事項でもあるため、前回と合わせて様子を見ていくことになりそう。2013年は忙しい年となりそう。

備えあれば憂いなしとあちこちのブログで話題となっている。非常食等の情報が(正しい情報を探すブログ等に載っていたので参考に。